

施策の進捗管理シート

令和 7 年度

総合 体系 計画	分野	2	第2章	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	施策統括課	建築住宅課
	施策No.	7	施策名	安全で快適な住宅環境の充実	課長名 (施策統括責任)	横尾 平和
	関係課	建築指導課 建築住宅課 高齢福祉課				

1. 施策の目標

めざす姿 (成果目標)	市民は、安全、快適で住みやすい居住空間を確保できている。
取組方針	安全で快適な居住環境の実現のため、高齢者等に配慮した住宅の整備を支援するとともに、住宅相談等の充実を図ります。市営住宅については、計画的な建替えや改善を行うとともに適正な供給に努めます。また、建築物の耐震性を確保するために耐震化の促進に取り組みます。

2. 施策の意図と成果指標

対象（誰、何を対象としているのか）*人や自然資源等	市民						
意図（この施策によって対象をどう変えるのか）	安全、快適で住みやすい居住空間を確保できていると感じる市民を増やす。						
成果指標 A						単位	
住居が安全快適で住みやすいと感じている市民の割合						%	
H30 基準	R1 計画 実績	R2 計画 実績	R3 計画 実績	R4 計画 実績	R5 計画 実績	R6 目標 実績	
86.9	86.9 85.7	87.0 86.5	87.0 85.3	87.1 84.4	87.1 86.6	87.2 90.1	
成果指標 B						単位	
市営住宅の建替による老朽化住戸の改善率						%	
H30 基準	R1 計画 実績	R2 計画 実績	R3 計画 実績	R4 計画 実績	R5 計画 実績	R6 目標 実績	
60.8	60.8 60.8	71.1 70.6	71.1 71.1	71.1 71.1	83.0 71.1	83.0 80.3	

3. 市民意向調査結果

施策の重要度	前回	今回	
重要である	49.1%	45.6%	↓
ある程度重要である	40.4%	44.3%	↑
あまり重要ではない	5.4%	5.7%	↑
重要ではない	0.3%	0.7%	↑
順位	14/36位	16/36位	↓

施策の満足度	前回	今回	
満足している	4.1%	3.8%	↓
どちらかといえば満足	43.2%	48.1%	↑
どちらかといえば不満	33.4%	30.7%	↓
不満である	5.4%	3.9%	↓
順位	21/36位	24/36位	↓

4. これまでの取組・成果

佐賀市公営住宅等長寿命化計画に基づき、老朽化した市営住宅の建替え・集約を実施した。

- ・平成26年度に道崎団地を現地建替えを行った。
- ・平成28年、29年度には、兵庫団地の現地建替えを行った。川久保団地においては、老朽化もあり、兵庫団地に集約し、解体した。
- ・令和2年度に北原団地を現地建替えを行った。上戸田団地については北原団地に集約し、解体した。
- ・令和6年度に光法団地の現地建替えを行った。また、道路拡幅の公共事業にて千々岩団地1棟を解体することとなったため、その分については光法団地に集約した。

5. 指標の達成状況に関する分析

・佐賀市住宅マスタープランや佐賀市公営住宅等長寿命化計画に基づき、順次老朽化した市営住宅の建替えを実施してきた。事業の実施には、入居者の協力や合意形成が必要であり、時間を要するものである。一定程度の建替え事業が進んだことから、改善率が80.3%となった。目標達成のための目標値にはわずかに及ばなかったものの、前年度比9.2%上昇した。

6. 今後の方向性（第3次佐賀市総合計画への反映など）

- ・引き続き、安全で快適な住宅環境の創出を図る。
- ・住宅困窮者が安心して生活できるよう既存市営住宅の適正な維持管理を行う。
- ・今後の人口減少に伴い、住宅要配慮者を考慮して、市営住宅の適正管理戸数を検討する。また、老朽化した団地については他団地との統廃合について検討する。さらに、民間市場における空家の利活用についても検討する。